

平成29年度 第2回 認知症対応型通所介護事業所 みぎわホーム

運 営 推 進 会 議

開催日時 平成30年2月27日(火) 午後1時30分～2時30分

開催場所 みぎわホーム 会議室

1、開 会 挨拶 副施設長 中村勝美

2、構成員の紹介

3、議題

- (1) 活動報告・活動予定
- (2) ミス・トラブル・苦情・事故報告
- (3) サービス内容について（当日配布）
- (4) その他、ご意見ならびに要望・助言

施設より

ご本人もご家族もこれまでの生活を続けたいと思う方が多いと考えている。陽だまりでは、どういったサービスの提供ができるか検討していたところ、夕食のサービスの提供という案が挙げられました。以前より、ケアマネジャーからも要望があり、ご家族が急遽帰りが遅くなってしまい、帰ることができなかった場合に何も提供できないまま時間を過ごすということもありました。なので、みぎわホームのサービスとして提供することができたらと思い、ご利用者にアンケートを集計いたしました。

夕食サービスや来年度のサービスについてご意見・ご要望

Y様(家族会代表者)

私の家内は、週3回デイサービスをお願いしていますが、アンケートにも答えているように楽しく帰ってきています。認知症ですから、今日何があった？と聞いても「わかんない」「忘れた」お昼何食べたの？「わからない」ということが多くなってきました。毎月神経内科にかかってお薬いただいています。先生に半年に1回認知症のテストをやっていただいております。先生は「横ばいですよ」と仰いますが、毎日見ていると日々動作や記憶力が段々と深くなっているような気がします。老々介護でうちの家内は、やろうともしません。お願いしても何やっていい

かわからない。今も 35 年住んでいる中でも迷っちゃって、トイレがどこにあるのか、浴室がどこか口で言ってもわからなくなっています。本人はあっけらかんとしています。こういうサービスをやっていただけると助かる面も多いです。特に夕食サービスは、うちも利用してみたい。私は要支援2をいただいています。まず自分のことをわかりやすく言えば、朝起きて着替えるのにも5分、10分かかってしまうほどで足が動かなく情けなくなる日常なんですけれども、掃除、洗濯、お風呂、トイレとうちにいると大変なんで最近ではケアマネージャーの計らいで月に2回ショートステイを3泊4泊と行なっております。来月、再来月には期間を長く取ってもらって、本人は最初嫌だと言っていましたけれど、今は慣れて「今日は日帰りで帰ってこれるのかい」とか、「ここ泊まりたい」とか嫌がらないで行ってもらうのが、なんとか助かっております。なので、こう言ったサービスがあると個人的には助かります。

↑ 様(家族会代表者)

晴れるや(一般型)を利用していますが今、肺炎になって入院し帰ってきて、自宅療養をしています。小脳梗塞のため、後遺症で声帯がダメになっています。なかなか自分の意思を伝えられない。わかっているけどなかなか伝えられない。認知症があるかと思ったけどそうでもないようです。私の家で希望するのは、もう少し運動の機能を落とさないようにできたらと希望しています。来月から新しくできたリハビリの施設に通うことになりましたが、良くなったらみぎわのデイサービスを利用したいと本人も言っていますので、よろしくお願いします。

↓ 様(家族会代表者)

主人が特養に入ってから、私がダメになってしまいこのままじゃいけないと思って、来月、再来月から、ここのデイサービスに移行させてもらいたいと思っています。今まで私が一人でやっていたから、できないことはないはずなんですけど、自分一人のことも今調子悪いです。そんな気持ちだから、病氣も寄ってきて病院に通う回数も増えてきちゃって。デイサービスへ一日も早くきて夕食をしてもらったら違うんでしょうけど、今からすぐにもお願いしたい気持ちです。

K 様(家族会代表者)

話が少し違うんですが、この間の金曜日の陽だまりでやっていたお鍋が羨ましかったです。お野菜も高いのに。本当にアットホームで5人ぐらいの家族で、いくつかのテーブルで食べている姿が羨ましかったです。家で一人鍋したら涙出るくらい寂しくて、鍋っていうのは誰かがいて鍋なんです。だから、本当に羨ましかったです。

Y 様(家族会代表者)

主人がお世話になっておりました時は、出かけると真っ先に帰らないといけない。ということが多々ありましたので、こういうサービスをしてくださるととても助かると思います。でも、やっぱりスタッフの方が大変になるんじゃないですか。ここまで面倒を見ていただけるとすごく助か

と思います。

施設より→職員は、現在陽だまりは、交代勤務なしの1勤務の形態になっています。なので、残業してしまう部分も出てきてしまいますが、このようなサービスをすることで、2交代勤務ということも考えております。そのようになれば、現在のような残業が解消されるのではないかと考えている。

K 様(民生児童委員)

老々介護でご苦労されている方々を考えるとお食事の面とかは、やはり負担を生じる場合がありますし、また急遽出かける場合に、お手伝いしていただくと楽になるんじゃないかなと思います。

ここの施設を利用されている方ではないんですが、お母様が介護保険を受けられて、息子様も体調が悪くお二方とも支援を必要としている方がおります。見守りの際に、食事の面は、ちゃんと食べているのか心配があります。施設でお世話になっている方と違うので、どのようにしたらその方やご家庭を見守っていけるか改善策を探しています。配食弁当のチラシも持って、強制はできないので、どうですか？と持って行ったり、この前はお電話が入りまして、息子様も体調悪くお買い物もいけないということだったので、買い物も手伝ったこともあるのですが、そういう面でどのようにサポートしていけばいいのか。ということがあるので、やはりスタッフの方に見守られていただくとすごく安心すると思いますので、できればそういう方向でやっていただけたらと思います。

W 様(町内会副会長)

何年か前に母が、デイサービス陽だまりの方でお世話になりまして、家族会にも出席させていただきます。経験談なども伺うことができ、とても助かっておりました。

陽だまりに行っている間、色々なことをさせていただきました。家族としては感謝しております。その中で、今のサービスというお話がありましたが、皆さん意見も違いますし、男性の方も女性の方もおりますし、それをどういう風に皆さんにサービスを提供するというのは難しいと思うのですが、やはり自宅でもなかなか、やらせてあげられないことってたくさんあると思います。こちらに来させていただいて、色々な経験もさせていただき楽しいことができたと思いましたので、希望をとりながら、その方がやりたいことをやらせてもらうことが生き生きと生活できるのではないかなと思います。

夕食サービスということについては、普段は夕食の時に自宅にいるので心配ということもないんですが、自分たちの用事で帰って来る時間がちょっと押してしまうということもありました。多少おかえりの時間やお迎えの時間に余裕があると助かるかなということもありました。また、働いているご家族の方もいらっしゃると思うので、夕食サービスというのは、いいと思います。また、地域の関係として、健康な方は介護や施設のことについては関心がないと思います。私自身も恥ずかしながら、母がお世話になるまでは、介護施設があることは知っていましたが、

繋がりを持とうということがなかなかありませんでした。母のことがあって、施設にお世話になり、地域で盆踊りに参加させていただいております。また施設の方も町内会に参加していただけているので少しずつですけど繋がりができていることがは、すごく良いなあと思っておりますので、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

E 様(南第1高齢者支援センター)

よくご相談であるのが、ご本人もご家族もとにかくリハビリをやりたい。と言われ半日型のリハビリを希望される方が多いのですが、アルブミン値が低く低体重の方だったり、リハビリを勧める前に、まず体調を整えてからにしましょう。というような方もいらっしゃいます。あとお食事の時間帯がご本人は、5時半に食べたい。でもご家族のおかえりが8時で、食べる時間は9時からになってしまう。それでも一緒に食べられない。と言うようなことや、男性の介護者の方が、今まで食事作りをやったことないけど、初めて妻を介護するようになって食事を作らなければいけない。

デイサービスをご利用していれば、そこでなんとかお昼ご飯を食べることはできるけど、夕食はというと、買ってきたお惣菜で味付けの濃いものが並んでいたり、また自分が作っているものが妻のためになっているのかというようなお悩み事になっていたりもすることがあるので、夕食サービスがあると食事の参考にもなることがあると思います。夕食サービスがあることで介護に慣れるまで助かるご家族様もあると思います。

K 様(老人クラブ副会長)

アンケート結果の中の希望するサービスの中で散歩という方が13人おられたようですが、これはまさにその通りなんだという感じを受けました。私も毎日土手を歩いておりますが、やはり歩くということは健康の基本中の基本なのではないか。デイサービスでどこまでできるのかわかりませんが、歩ける人は歩くというのが非常に重要なことじゃないかと、アンケート結果を見せていただいて感じました。

施設より→アンケートには散歩と記載しましたが、介護保険制度上では、適したサービスとは異なりますので、下肢筋力維持向上のための機能訓練として、大事なことだと感じています。今回アンケートでもそういったサービスを皆さんがご希望されているということがわかりましたので、今後考えていきたいと思っています。

T 様(地区社会福祉協議会会長)

昨日認知症講座を聞いてきました。認知症の方との関わり方。その話の中で感動したのは、認知症の方も普通の人と変わらない。ちょっと障害となる部分があるだけ。今ここにアンケート結果のコメントで大変皆さん感謝されています。これはやはりみぎわのスタッフの方々が、認知症の方の人格を尊重しながら対応されておる賜物ではないかと思っております。それを続けていただければと思います。

K 様(自治会会長)

私も6年ほど前に母を亡くしましたが、95歳の時にデイサービスから帰ってきたら、私のことを怒鳴りつけて、バカにするな。と言われました。それから行くことはなかったのですが98、99歳の時に色々な方にお世話になりました。

確かにデイサービスで夕食を出してもらおうと家族はとても助かると思います。

もしこの夕食サービスをやるよということが決まれば、自治会の常任委員会でみぎわホームさんがこういうことをやりますということを話します。以上です。

施設より→なかなか皆さんの声を直接聞くことのできる機会がありませんでしたが、ご希望があるということがわかったのでよかったです。ありがとうございました。

4、閉会 挨拶 通所介護事業所 管理者 八木橋玲江